

つなぐ



<設立状況(R3.12.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 29(31地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0地区)

Vol.40

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



第6回地域カパワーアップ大会・交流会

～人と人とのつながりの再発見～

地域カパワーアップ大会とは？

まちづくり協議会活動の事例発表などを行い、未設立地区の方や一般の方にまちづくり協議会について知っていただくことを目的として、平成27年度から開催しています。



次 第

- 挨拶 松山市長 野志 克仁
- 松山市コミュニティ・アドバイザー 紹介
- 事例発表
 - (1) 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 学生ボランティアセンター
 - (2) 久枝地区まちづくり協議会
 - (3) 五明地区まちづくり協議会
- 質疑応答・講評

11月20日(土) 午前10時～12時に、『第6回地域カパワーアップ大会・交流会』人と人とのつながりの再発見』を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度は中止となっていました。まちづくり協議会や市民活動団体関係者の方々を対象に、各団体人数制限を設け事前申込制をとって2年ぶりに開催することができました。

今大会はまちづくり交流会も兼ねていて、まち協関係者の方の久しぶりの対面での交流の場にもなりました。

第6回地域力パワーアップ大会・交流会 事例発表

五明地区まちづくり協議会

題目

収穫祭

- ・「収穫祭」を毎月第4土曜日9～15時に佛性寺前広場で実施しています。
- ・五明を知って、来てもらい、住んでもらうことを最終目標に「収穫祭」を始めました。
- ・当日は、五明まち協が所有するキッチンカー（ファイブスター号）が出店しています。地元で採れた猪の肉を使ったしし肉うどんやしし肉カレー、藤稔のソースをかけたソフトクリーム、壺で焼いた焼芋など、季節に応じたメニューを提供しています。キッチンカーの出店希望があれば、五明まち協（080-2977-1865）まで連絡を。



・五明まち協は、古民家を改修した「ふれあいの館」という施設を整備していて、そこで育った作家の陶芸作品を収穫祭で販売し、陶芸体験のスペースも用意しています。

・他にも、地域で育てた野菜や家から持ち寄った余剰品などの販売や的当て・ひもくじなど体験して楽しめるコーナーの設置、佛性寺敷地内でコーヒーや手作りのお菓子をいただける「こもれびカフェ」など来場者に楽しんでもらえるよう工夫をしながら実施しています。ぜひ1度五明地区まで足を運んでみてください。



五明大師堂焼

久枝地区まちづくり協議会

題目

空き家を活用した住民交流施設“ひなた”の設置

- ・久枝支所会議室の一面を借用し久枝まち協の事務所としたが、手狭であり使用時間の制約もあるため住民の交流や施策が自由に展開できないことに悩んでいました。
- ・空き家対策を進める松山市住宅課が窓口となり、空き家を地域コミュニティ維持などに活用するための交流拠点として整備する取組に、認定まちづくり協議会である久枝地区まちづくり協議会がモデル事業として取り組むことになりました。
- ・補助対象経費のうち国から1/3、住宅課から1/3、まちづくり推進課から1/6の助成を受け、残り1/6を久枝まち協が負担し、空き家を改修しました。
- ・見つかった空き家は、1階をワンフロア化・バリアフリー化、流し台をIHにするなどを最優先としました。庭はまち協役員で整備し、車を4台止められる駐車場も確保できました。
- ・整備した交流施設を「ひなた」と名付け、お客様第1号で潮見まち協がかけつけてくれました。その後、三津浜、興居島、立岩まち協の方々も見学に来てくれました。
- ・現在、地域住民に部屋の貸し出しを行っていて、会議や地域行事の準備など交流の場となっています。「ひなた」の見学をしたい地区があれば、久枝まち協（089-989-5427）まで連絡を。



聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 学生ボランティアセンター

題目

学生ボランティアセンターの歩み

- ・学外から寄せられるボランティア依頼の重複を避け、対応しきれない状況を改善するために1998年に学生ボランティアセンターが設立されました。「福祉系サークルをつなぐ」、「ボランティア団体や機関などからの情報を学生につなぐ」、「イベント等で大学全体のボランティア活動を活性化する」ことを目的としています。
- ・ボランティアウィーク、ボランティアフェスタ、先進国で販売する健康食の代金の一部を発展途上国の給食支援に充てる国際貢献活動であるTF T活動、北条地域のボランティア活動、松山市社会福祉協議会との連携、災害ボランティア活動、学生赤十字奉仕団との協同活動に取り組んでいます。



- ・コロナ禍で、ボランティア活動を中止していましたが、10月27日からボランティア派遣依頼の受付を再開しています。感染防止対策を行い、様々なボランティア活動に取り組んでいきたいです。先輩たちからのボランティアの思いを受け継ぎ、後輩に引き継いでいきたいと思っています。

松山市コミュニティ・アドバイザー講評



讃岐 幸治
アドバイザー

- ・古民家が公民家（地域の様々な人が気軽に集まることができる場所）になっていけばいいなと思っていました。
- ・久枝地区まちづくり協議会は、空き家を公に使っていて感心しました。「収穫祭」は、持ち寄りやおすそ分け文化の良い例だと思います。
- ・公民家などで地域の皆さんが色々な物を持ち寄って楽しめる場になっていけばいいと思います。

- ・マスクをして笑顔が見えない生活が続きますが、今回の発表で温もりを感じました。
- ・若者の地域参加は非常に重要なこと。空き家問題や若者がいないなどの問題はありますが、知恵を出せば地域が良くなっていくと思います。
- ・議員や行政に頼るのではなく、地域の力が必要です。皆で知恵を出せば、空き家活用など良い方向へ進んでいくでしょう。



若松 進一
アドバイザー



前田 眞
アドバイザー

- ・まちづくり協議会が設立し始めたころと比べると、SNSも活用しながら情報発信をしており、大きく飛躍していると思います。
- ・地域の中に小さな拠点が必要だと改めて感じました。空間があると、人材や知恵が集まってきます。
- ・色々な機会が広がるようチャレンジをしてみてください。豊かな良い暮らしになるように皆で取り組んでいきましょう。



この2年ほどは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年のように集まることができていませんでしたが、久しぶりに直接皆さんの顔を見ることができました。関係者の皆さんが一堂に会す機会を作れる状況になったことが、担当者として大変うれしく思っています。

当日は、たくさんの方々にご協力いただき、無事に会を終えることができました。発表していただいた方に来ていただいた方、ありがとうございました。今回来ることができなかった方も皆が安心して集まることのできるよう、担当者一同今後も頑張っていきます。